

イベント

異業種交流会に過去最高の60人

オフィスパークレー

商業店舗デベロッパの(株)オフィスパークレー(熊本市東区尾ノ上、木村繁樹社長)は7月20日、同市中央区の熊本ホテルキャッスルで異業種交流会を開いた。

同交流会は夏と冬に開いている恒例行事で、今回は「がんばろう!!熊本」をテーマに熊本地震からの復興イベントとして開き、県内外から同社取引先の担当者ら過去最高の60人が出席した。はじめに木村社長が「熊本地震が発生し、交流会を



▲県内外から60人が出席した交流会



▲オフィスパークレーのスタッフ



木村 繁樹 社長

またにぎわっていた。同社は1998年設立、社員数6人。年商は4億円。県内を中心に大型商業施設やコンビニ、飲食店などの出店開発を手掛けている。

やるべきか悩んだが、やはり熊本の復興は熊本からという考えで、開催することを決めた。本日はざっくりばらんな会として、交流を深めてほしい」とあいさつし乾杯。開宴後はテーブルごとの写真撮影や賞金が当たる抽選会も開き、会場は最後までにぎわっていた。

イベント

350人集い江津湖の水草除去

熊本県ボート協会

熊本県ボート協会(菊池市班蛇口、三井宣之会長)は8月7日、熊本市東区の下江津湖で水草の除去や周辺部の清掃活動を行った。

熊本県におけるボート競技の中心となつている江津湖の自然環境保全やスポーツの振興を目的に実施したもので、当日はボート協会の協会員や清掃活動に協賛している肥後東ライオンズクラブ会員、またスキューバダイビングスクール・パウラインスクール(熊本市



▲水草の除去に汗を流す参加者



吉村 昌洋 熊本県ボート協会 会長



岩井 健一 肥後東ライオンズクラブ 会長



三井 宣之 会長

汗を流した。後には、参加者が下江津湖の西岸レガッタコース付近および東岸の各所に分かれ、水草の除去や周辺部の清掃などに汗を流した。

南区近見)のスタッフら関係者約350人が参加した。はじめに三井会長が「熊本地震が発生し、江津湖の今後がどうなるか心配していたが、徐々に活を取り戻している。本日は熱中症に気を付けながら皆さんで協力して精一杯頑張りました」とあいさつ。その後、参加者が下江津湖の西岸レガッタコース付近および東岸の各所に分かれ、水草の除去や周辺部の清掃などに汗を流した。

イベント

県内小中学生を招待し復興支援イベント

日本財団

(公財)日本財団(東京都港区、笹川陽平会長)は8月、熊本の小中学生らを対象に熊本地震復興支援イベントを実施した。

県内の小中学生と保護者らを招待し、夏休みの思い出づくりを目的に開いたもの。熊本フェリー(株)が運航する超高速カーフェリー「オーシャンアロー」に乗船、熊本-島原間を遊覧し、8月12日は熊本港みなとまつりの花火大会を、25日は島原温泉ガマダス花火大会



▲8月12日の船上花火観賞イベント。オーシャンアロー前で記念撮影



▶船内で食事とドリンクを楽しむ参加者



▲船上から見える花火と夜景を楽しむ参加者

を船上で観賞。また、8月13日から23日まで帆船「みらいへ」の一日船員体験を合計10回開催した。8月27日は大型フェリー「はくおう」で熊本港から長崎県の軍艦島、鹿児島県開聞岳などを巡る1泊2日の船旅を実施。イベントではキリングループが「復興応援キリン絆プロジェクト」の一環としてドリンクを提供した。12日のイベントには197人が参加し、船上から見える花火を楽しんでいた。